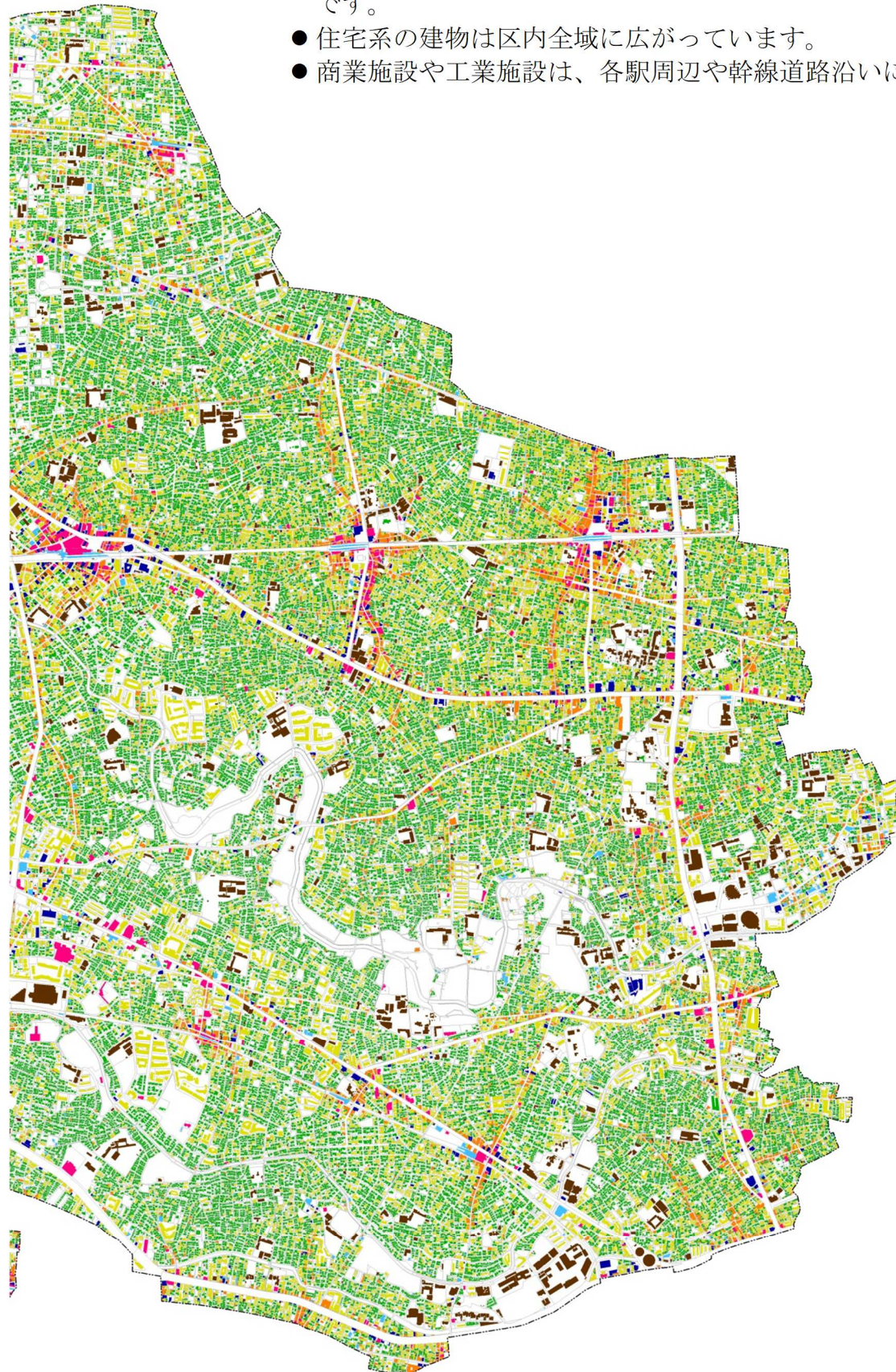


建物用途別現況図

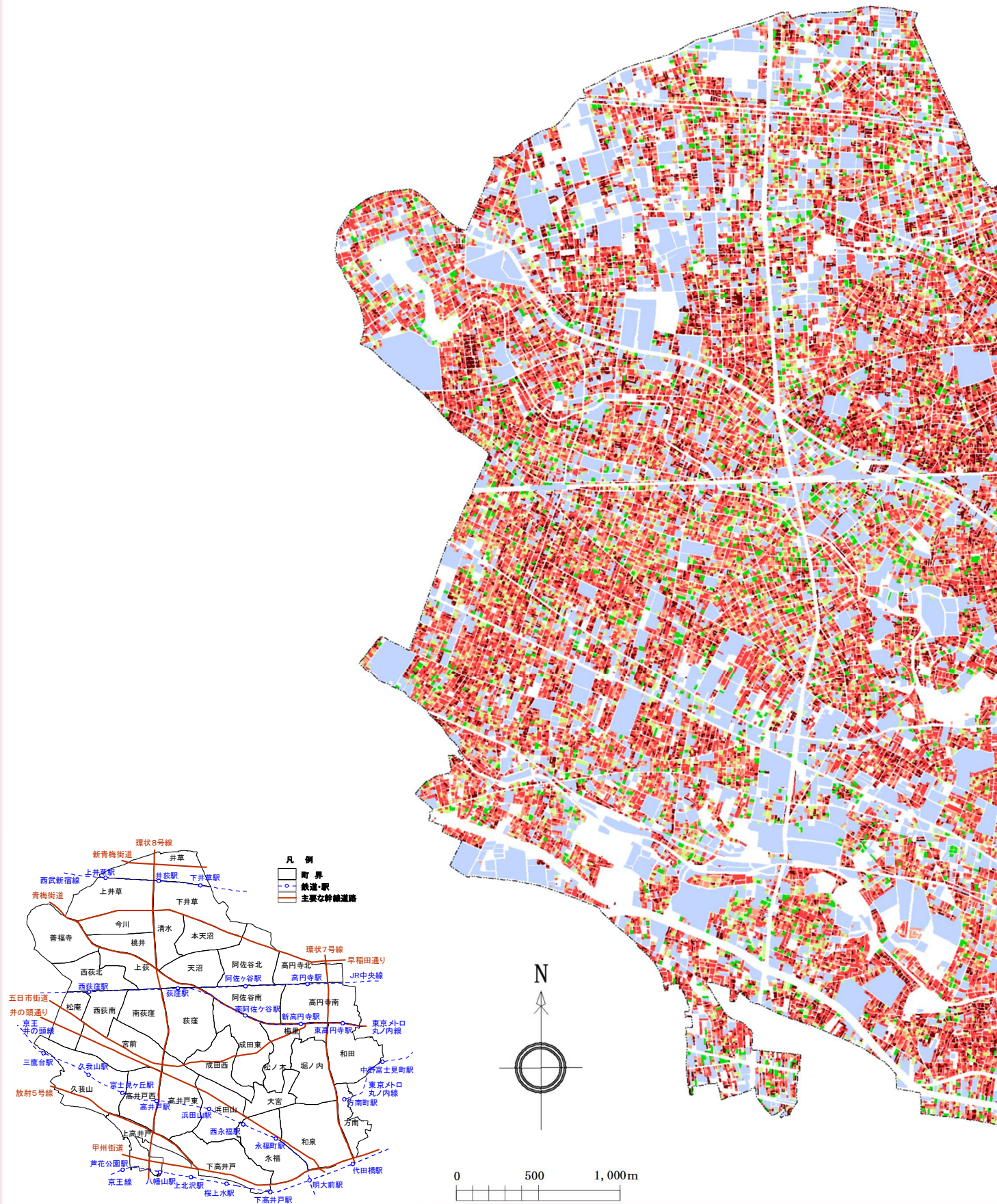


《建物用途の分布状況》

- この建物用途別現況図は、区内の全建物を主要な用途別に色分けしたものです。
- 住宅系の建物は区内全域に広がっています。
- 商業施設や工業施設は、各駅周辺や幹線道路沿いに多く分布しています。

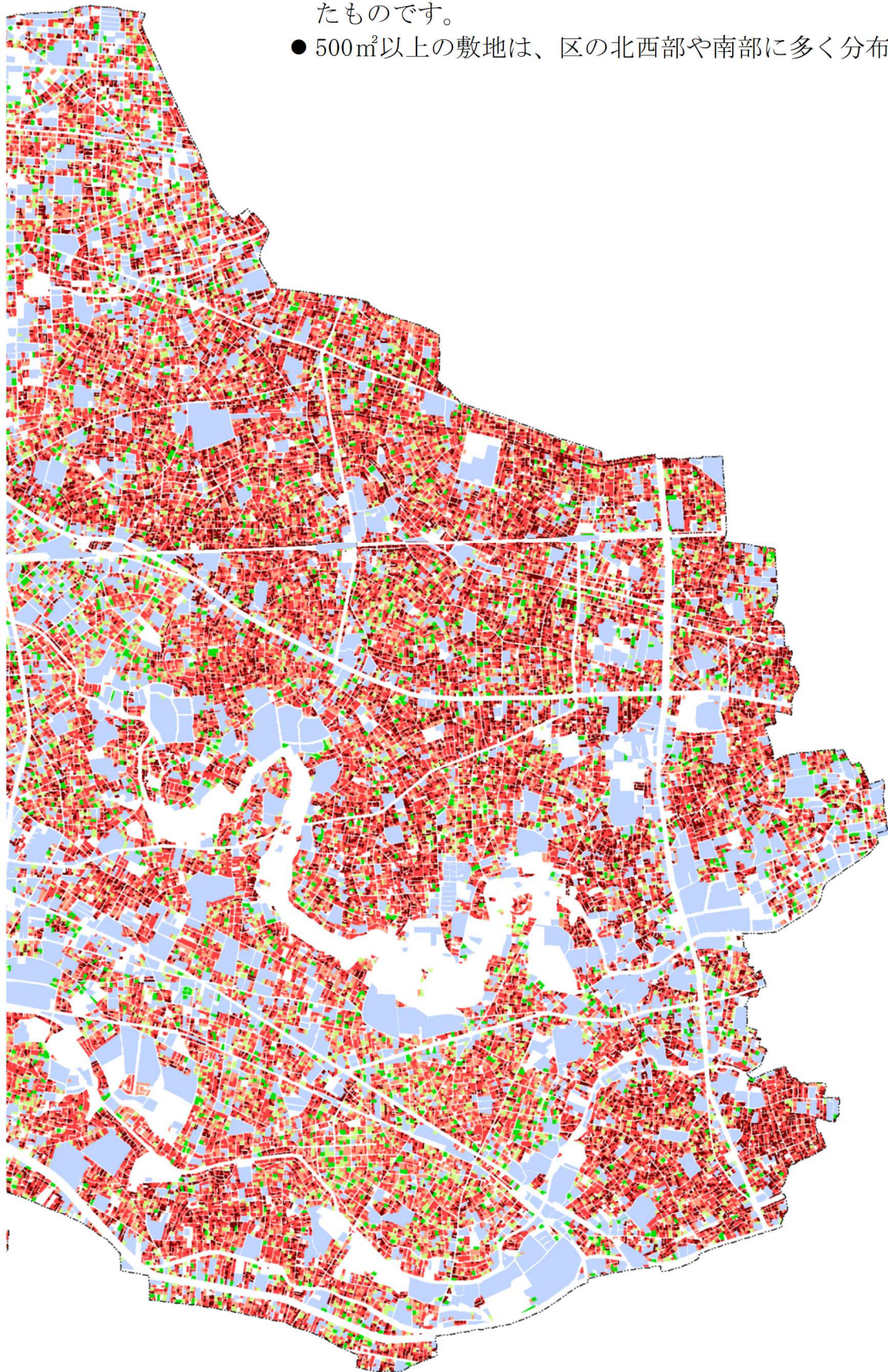










敷地規模現況図



《敷地規模の分布状況》

- この敷地規模現況図は、区内の全建物の敷地を規模別に区分し、色分けしたものです。
- 500㎡以上の敷地は、区の北西部や南部に多く分布しています。



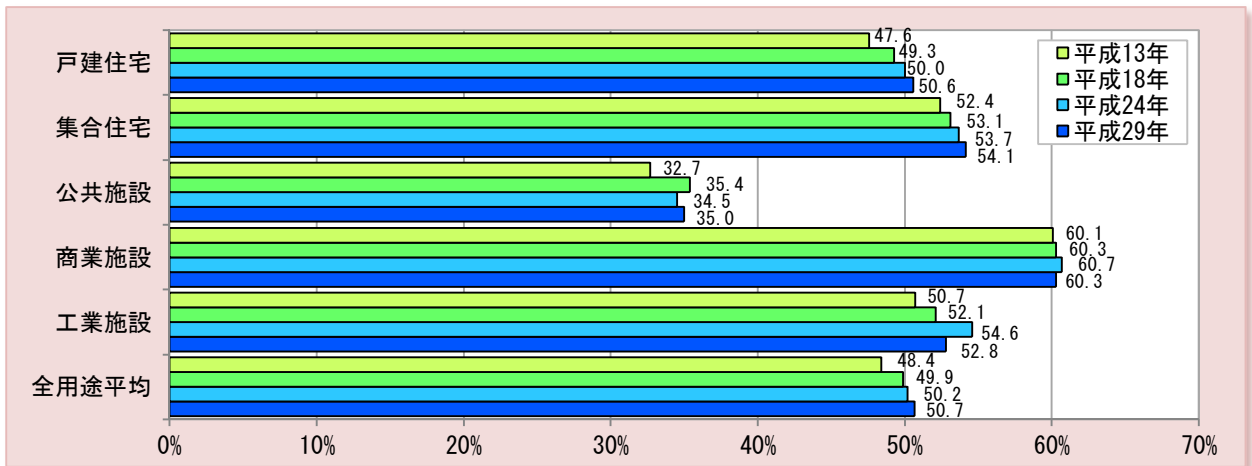
凡	例
	500㎡以上
	400㎡以上500㎡未満
	300㎡以上400㎡未満
	200㎡以上300㎡未満
	100㎡以上200㎡未満
	100㎡未満
	非宅地
	区界

(3) 利用建蔽率の推移

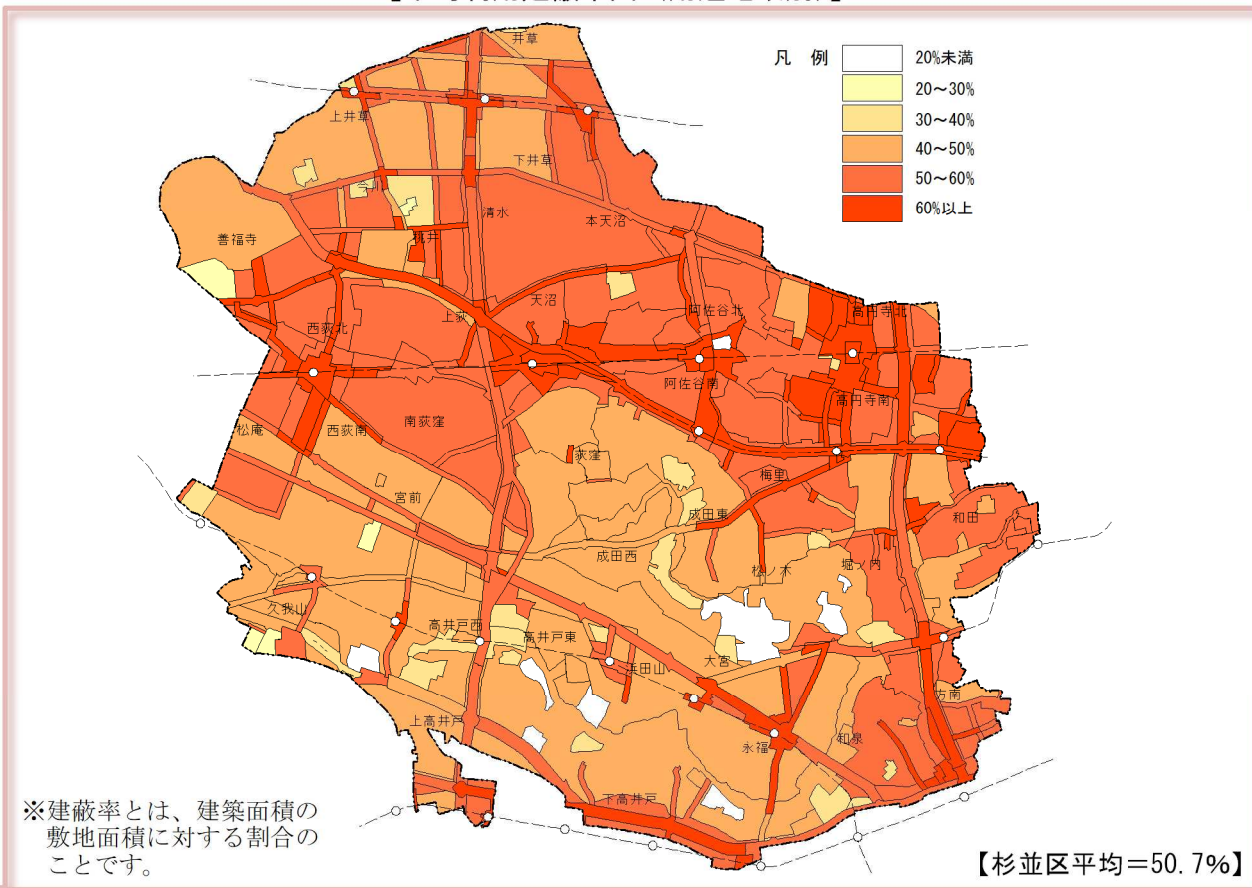
◆ 路線式用途地域で50%以上の利用建蔽率が多く分布

- 全建物用途における平均利用建蔽率は50.7%で、平成24年から0.5ポイント上昇しました。一番利用建蔽率が高い用途は商業施設で60.3%ですが、ほぼ横ばいの傾向です。
- 利用建蔽率の上昇傾向は住宅系の用途で見られており、これが全体の増加の要因となっています。
- 用途地域別では、指定建蔽率が高い商業地域や、路線式(主要な道路沿道での用途地域)の指定が多い近隣商業地域などでも利用建蔽率60%以上の高い利用状況が見られます。
- 概ねJR中央線沿い及び中央線から早稲田通りの間に、50%以上の利用建蔽率を示す用途地域が多くなっています。

【平均利用建蔽率の推移】



【平均利用建蔽率図 (用途地域別)】



平均利用建蔽率 = (建築面積合計) / (宅地面積合計) × 100

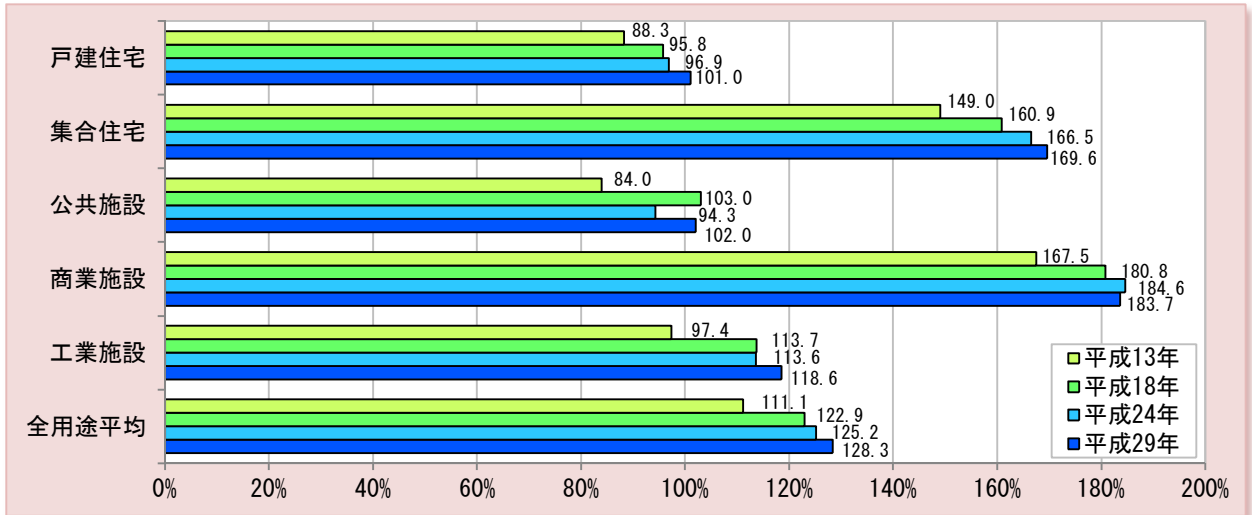
(4) 容積率の推移

1) 利用容積率の推移

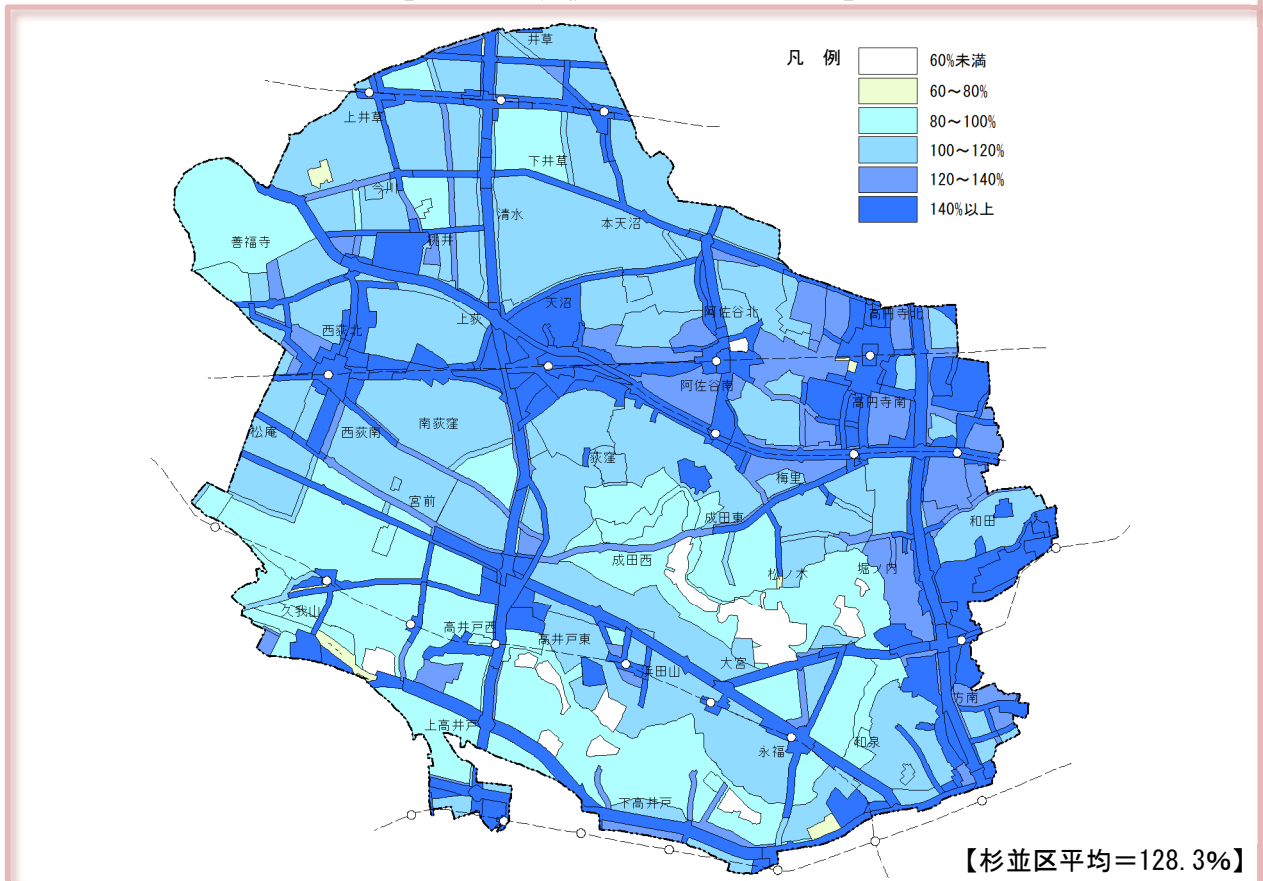
◆ 最も平均利用容積率が高いのは、商業施設の183.7%

- 全建物用途における平均利用容積率は、128.3%で前回から3.1ポイント上昇しました。
- 用途地域別では、鉄道駅周辺や幹線道路沿いの利用容積率が高くなっています。

【平均利用容積率の推移】

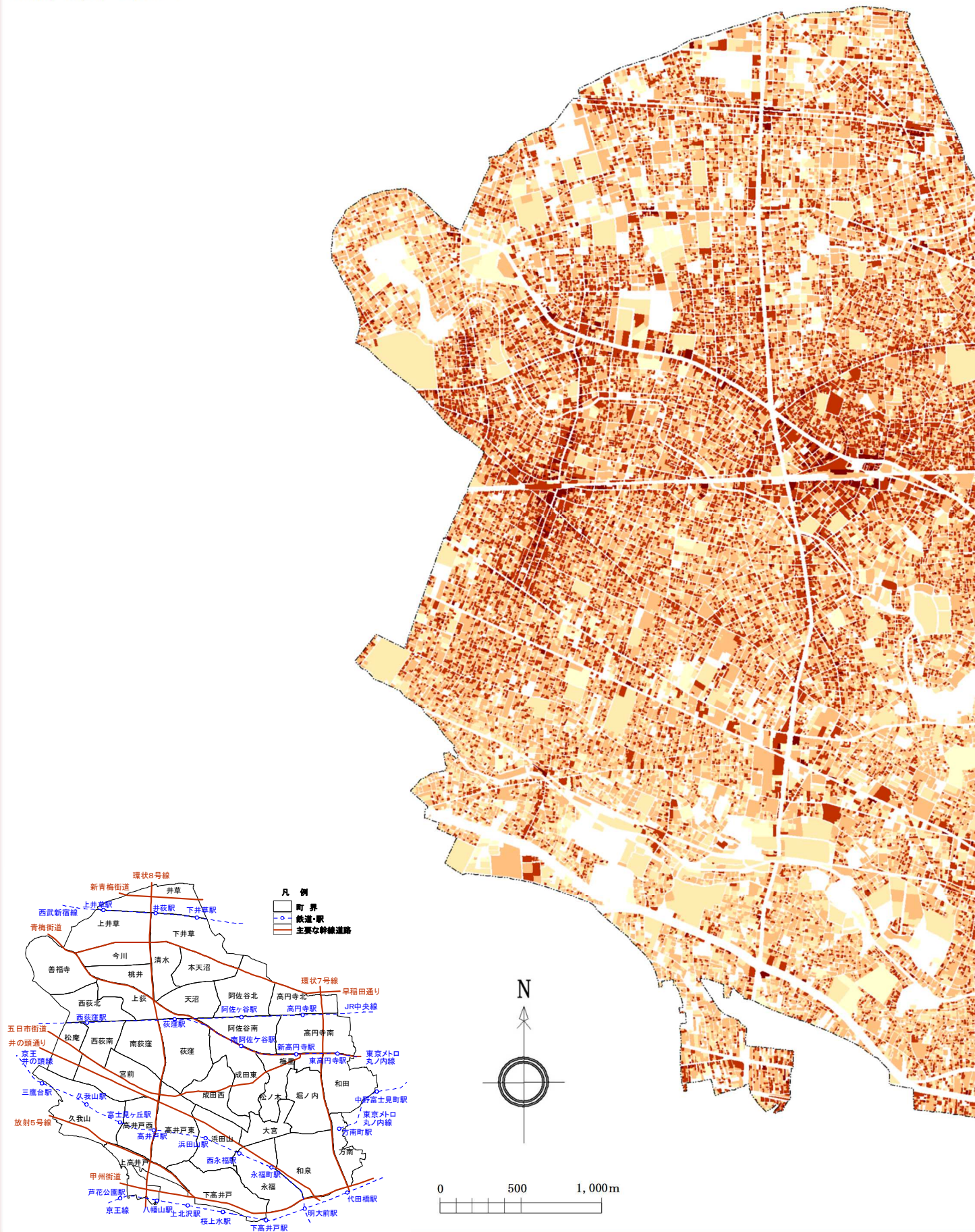


【平均利用容積率図（用途地域別）】



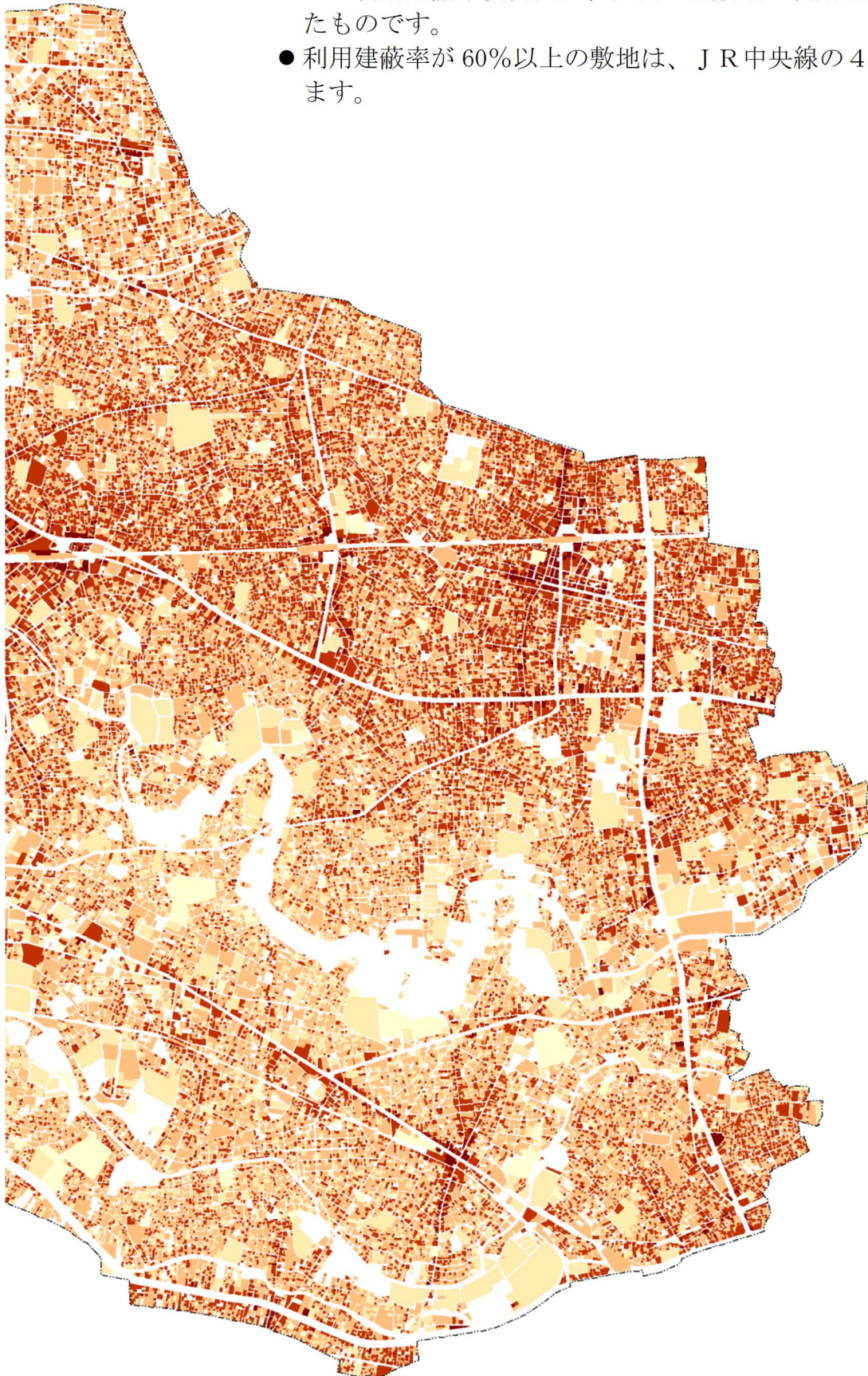
平均利用容積率 = (延べ床面積合計) / (宅地面積合計) × 100

利用^{べい}建蔽率現況図



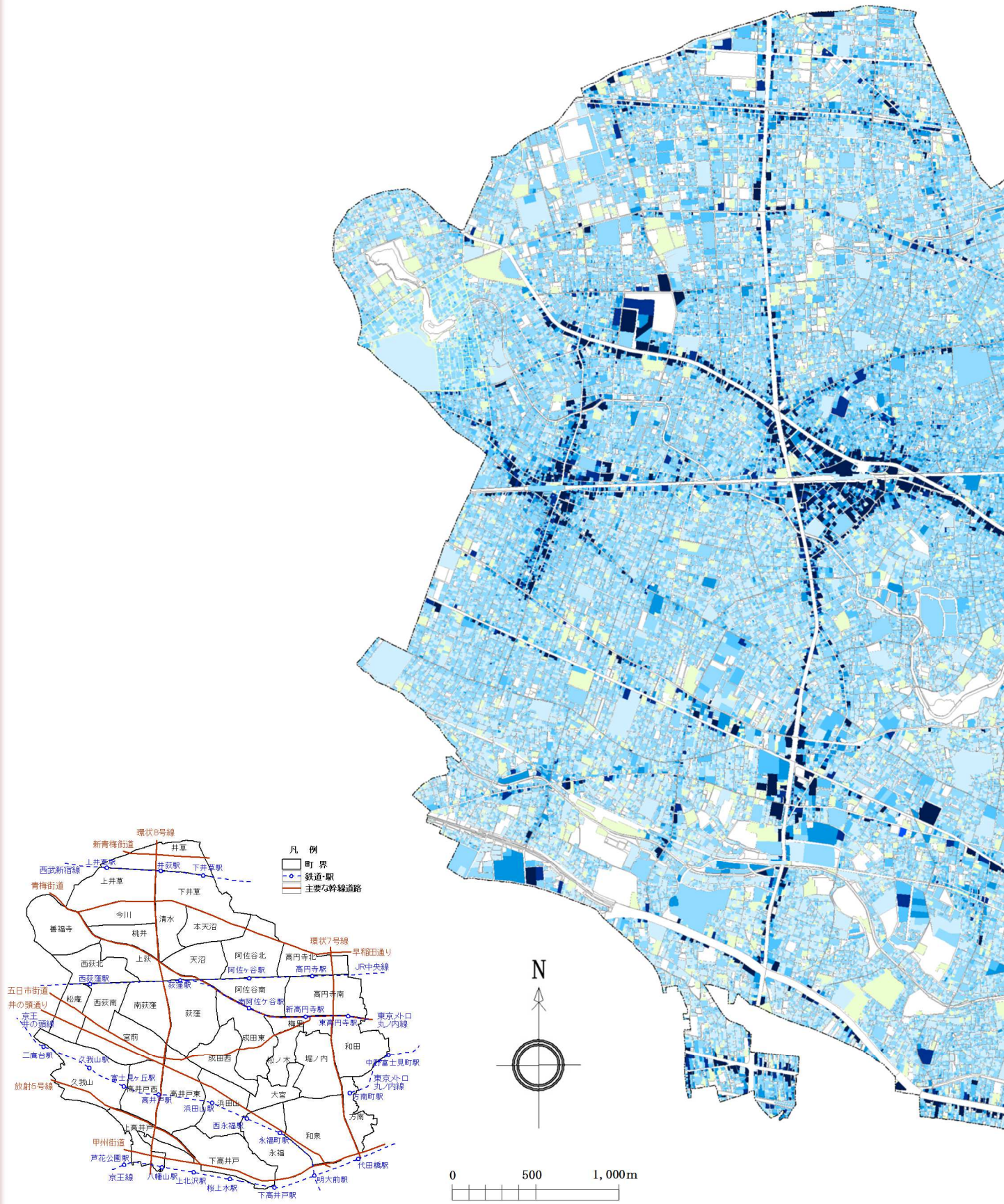
《利用建蔽率の分布状況》

- この利用建蔽率現況図は、区内の全敷地の利用建蔽率を区分し、色分けしたものです。
- 利用建蔽率が60%以上の敷地は、JR中央線の4駅周辺に多く分布しています。



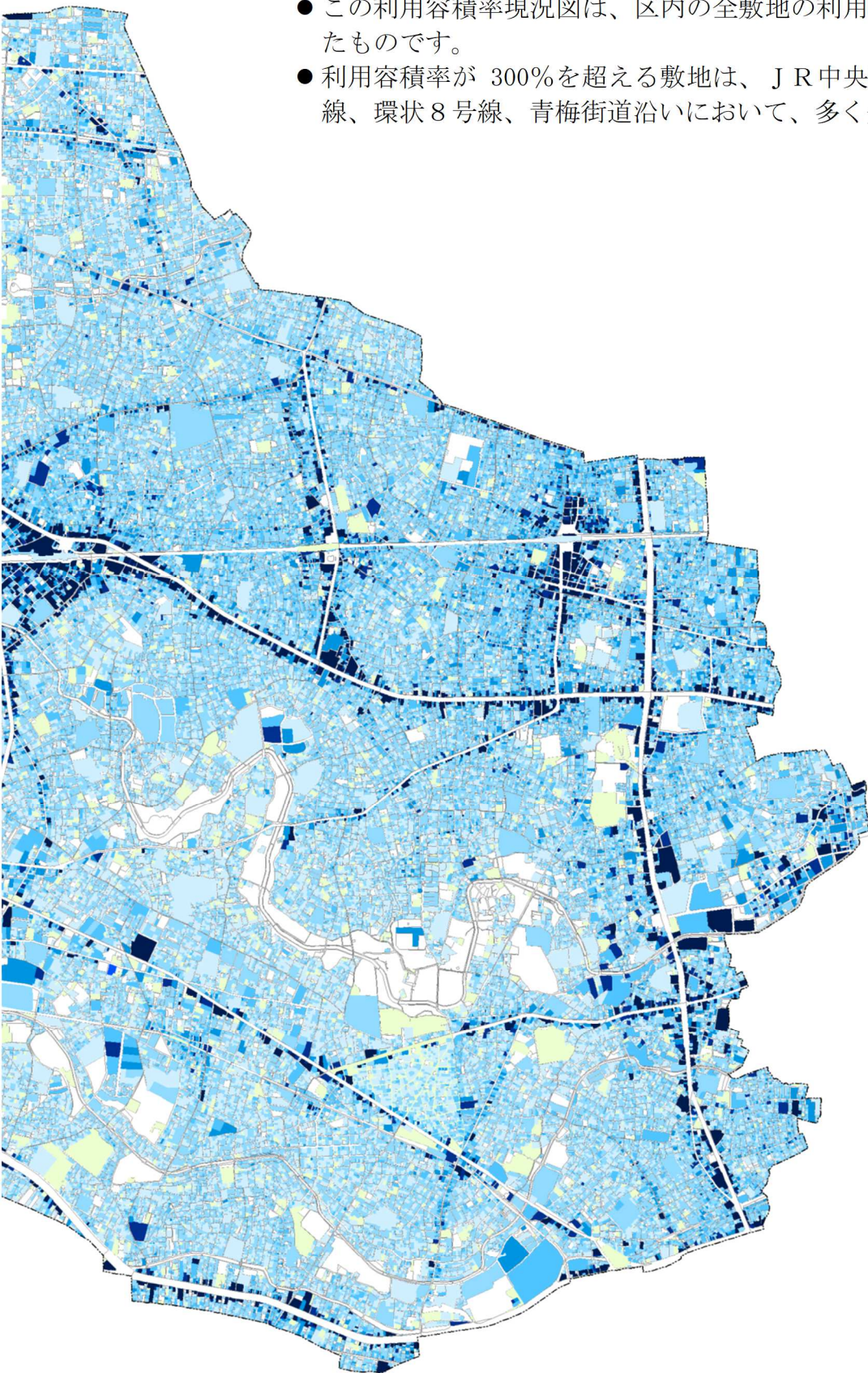
凡	例
	20%未満
	20%以上～40%未満
	40%以上～60%未満
	60%以上～80%未満
	80%以上
	非宅地
	区界










利用容積率現況図



《利用容積率の分布状況》

- この利用容積率現況図は、区内の全敷地の利用容積率を区分し、色分けしたものです。
- 利用容積率が300%を超える敷地は、JR中央線の4駅周辺及び環状7号線、環状8号線、青梅街道沿いにおいて、多く分布しています。



凡	例
	50%未満
	50%以上～100%未満
	100%以上～150%未満
	150%以上～200%未満
	200%以上～250%未満
	250%以上～300%未満
	300%以上
	非宅地
	区界